

令和4年1月11日

3 学期始業式あいさつ

- 皆さん、おはようございます。そして、新年おめでとうございます。校長の都丸です。
- 皆さん、長期の冬季休業期間は、どのように過ごしたのでしょうか。計画的に過ごすことができたのでしょうか。この冬季休業期間は、感染症対策を施しながらも、ある程度、自由な計画が立てられたのではと思います。
- 私は、元旦は、ニューイヤーク伝。そして2日、3日は箱根駅伝をテレビで見て、初詣に行きました。
- 今年の箱根駅伝は、青山学院の圧勝でした。大会記録での優勝でした。その要因は、様々であるとは思いますが、原動力の一つは、選手一人ひとりが「自律」という考え方を持って取り組んだことではないでしょうか。自分を立てる自立ではなく、自分を律すると書いて「自律」です。
- 自分に足りないものは何なのか、目標とするものは何なのか、そういうものを指導者がいなくとも実行する。全ての選手が、自分がエースであるという気持ちで、自ら考え、目標に向かって、日々の生活や練習に取り組んだようです。
- 自己の裁量に任された練習時間を増やしたことで、選手の中には食事時間を遅らせて練習に取り組んだ選手もいたそうです。
- こうした取組みを進めるためには、もちろん高い志が必要ですが、まずは自分自身がどのような性格で、どのような考え方をするのかなど、自分自身を知ることが必要となります。その上で、得意なことは何か、苦手なことは何かということをしっかり分析することが大切になります。これがないと無理をして嫌になったり、オーバーワークで身体を壊したりしてしまいます。
- 1区を走った志貴選手は、他大学の選手がトップを独走していた中、自分のペースを守り、好位置をキープしたことで優勝への道をつくったとのことでした。
- 1区ですから、本来ならば出遅れてはいけないと先頭についていきたくなるところですが、自分自身の性格と得意分野、そして役割などからマイペースを守り、2番手集団をキープしたということです。自分自身を知り、分析していなければこうした考えも出てこないと思います。
- さて、今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」です。「厳しい冬を越えて、芽吹きはじめ、新しい成長の礎となる」という意味があること終業式で皆さんに伝えました。

- 新しい成長に向け、意識をもってしっかりと取り組んでもらいたいと思います。では、何に取り組むのか。無理をしてしまうと目標は絵にかいた餅となってしまいます。
- そこで、自分自身をよく見直してみてください。自分がどのような性格で、どのような考え方などをするのか。そして、どのような理想・目標を持っているのか。持っている人は、それに向かってどのように取り組むことが自分に合うのか。また、目標が定まっていない人は、どのような人・人物になりたいのか。そのために何を行うべきなのか。
- こうしたことを考えれば、何に取り組むことが必要なのかが見えてくると思います。
- 相模田名高校のキャッチフレーズは、「未来への挑戦 ～やる気・元気・勇気～」です。それぞれが考えたことに向かって積極的に、主体的にチャレンジしていきましょう。
- 私は、今年も皆さんのたくさんの笑顔が見られるよう明るく、元気に取り組んでいきます。
- 最後に、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が流行しており、感染者数が日に日に増加しています。
- これまでと同様、マスク着用、手洗い、うがいを実施するとともに、3密を避けることなど、自分自身が感染しないよう感染対策に取り組んでください。
- 自分を守ることが、大切な人を守ることになり、全体を守ることにつながります。マナー日本一を目指すためにも、自分がまずしっかりやるという気持ち、意識をもって行動してください。